

岩手県議会基本条例

前文

第1章 総則

目的（1条）／議会の役割及び活動方針（2条）／災害等への対応（2条の2）／議員の活動及び活動方針（3条）

第2章 県民と議会との関係

- ・県民意向の県政への反映（4条）
- ・県民参加の機会の充実等（5条）
- ・本会議及び委員会の公開（6条）
- ・広聴広報活動の充実（7条）
- ・情報公開の推進（8条）

第3章 知事等と議会との関係

- ・知事等との関係の基本原則（9条）
- ・監視及び評価（10条）
- ・政策立案及び政策提言（11条）

第4章 議会運営

定例会の回数（12条）／本会議及び委員会の運営（13条）／会派（14条）

第5章 議会の機能の強化

議会の機能の強化（15条）／政策条例の会派共同提案（16条）／制度の積極的活用（17条）
研修及び調査研究（18条）／政務活動費（19条）／県政調査会（20条）／議員連盟（21条）
／議会改革の推進（22条）

第6章 政治倫理

政治倫理（23条）／資産等の公開（24条）

第7章 定数及び議員報酬等

定数（25条）／議員報酬及び費用弁償（26条）

第8章 議会事務局等

議会事務局（27条）／議会図書室（28条）

第9章 補則

他の条例等との関係（29条）／検討（30条）

岩手県議会基本条例（抄）

（議会の役割及び活動方針）

第2条 議会は、県民を代表する合議制の機関として、次に掲げる役割を担うものとする。

- （1） 議会に提出された議案の審議及び審査を行うほか、積極的に政策立案及び政策提言に取り組むことにより、県の政策を決定すること。
 - （2） 知事等の事務の執行について監視及び評価を行うこと。
 - （3） 前2号に掲げるもののほか、議会の意思又は見解を対外的に表明すること。
 - （4） 前3号に掲げる役割を的確に果たすことを通じて、県政の情報及び実状を県民に明らかにすること。
 - （5） 合議体としての議会を適正かつ効率的に運営し、及び管理すること。
- 2 議会は、前項の役割を果たすため、次に掲げる方針に基づき、活動するものとする。
- （1） 議会活動の透明性を高めること。
 - （2） 県民の議会に対する信頼を確保すること。
 - （3） 県民の意向を的確に把握し、県政に反映させること。
 - （4） 議会活動に関する県民への説明責任を果たすこと。
 - （5） 知事等と対等でかつ緊張ある関係を構築し、これを保持すること。
 - （6） 他の地方公共団体の議会との交流及び連携を行うことにより、議会活動の成果をより高めること。
 - （7） 県民の負託にこたえる議会のあり方を不断に追求し、議会の改革に継続的に取り組むこと。

（広聴広報活動の充実）

第7条 議会は、次に掲げる取組を積極的に推進すること等により、広聴広報活動の充実を図るものとする。

- （1） 県民の多様な意見の的確な把握
- （2） 議会活動に関する情報の多様な媒体による県民への提供
- （3） 議案等に対する議員の賛否の速やかな公表
- （4） 議員で構成する会議による広聴広報の充実強化